



まずは“傾聴”を大切に。

保健師 倉敷保健推進室

角南 知佳 (すなみ ちか)

令和3年度入庁

所属の業務内容と現在担当されている業務について、教えてください。

主な業務として母子保健、成人保健、精神保健、組織支援があります。保健師は業務担当と学区担当があり、業務担当では成人保健分野を担当しています。胸部レントゲン検診やがん検診など健康診査に関することの調整や受診率向上に向けた普及啓発などを行っています。学区担当では、子育て中の方の育児相談や地域組織への健康教育、精神障がいをお持ちの方の相談対応など、乳幼児から高齢者まで幅広い世代を対象に活動しています。

業務の中で、印象に残っていることは？

乳幼児を育てている母親へ電話した際、最初は返事のみであまり会話が進まなかった人がいました。訪問した際には、子どもの様子や母親の表情の変化、生活環境などから母親が困っていることを汲み取り、子どもとの関わり方や育児負担の軽減に向けて一緒に考えることができました。「話を聞いてもらえて、すっきりした」と言ってくれ、今でも相談を受けることがあります。実際に訪問することで電話だけでは分からない情報が明らかになり、対象者の方とも関係性を築きやすいことがこの経験を通じて分かりました。



倉敷市を志望した理由について教えてください。

私は生まれ育った倉敷市で市民が安心して暮らせるまちづくりに貢献したいと考え、志望しました。平成30年7月豪雨で真備地区が被災した際に、私はAMDАの活動にボランティアとして参加しました。そこで倉敷市の保健師が多職種と連携しながら市民のために懸命に働く様子を見て、感銘を受けました。また、倉敷市の就職希望者として乳幼児の健康診査等を見学した際に、保健師の皆さんから丁寧にご指導いただきました。これらの経験から、私も倉敷市の保健師として働きたいと考えました。



倉敷市職員を目指す皆さんにメッセージをお願いします。

倉敷市が地元の方だけでなく、市外・県外出身の方も倉敷市で働きたい気持ちがあれば大丈夫！多種多様な職員が倉敷市のために一丸となることで、より良いまちづくりにつながると思います。保健師は新採用の方はもちろん、職務経験者の方も多数活躍しています。1～3年目の新任保健師の研修会や若手保健師の勉強会が充実しており、保健師同士の交流も盛んです。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！